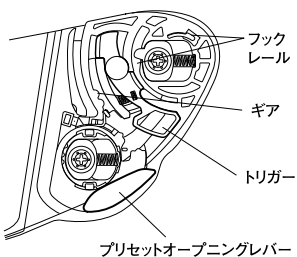


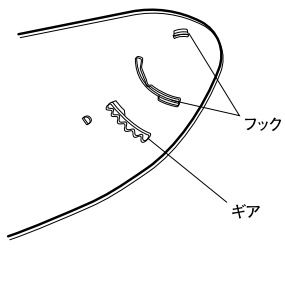
クイック リリース セルフ アジャスティング システムのご案内

Q.R.S.A.システムは、シールドの簡単確実な脱着をはじめ、シールドベースがダブルアクションで動くことで、全開時のシールドと窓ゴムの密着性を格段に高めました。

〈Q.R.S.A.〉ベース



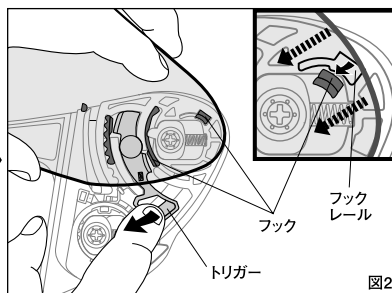
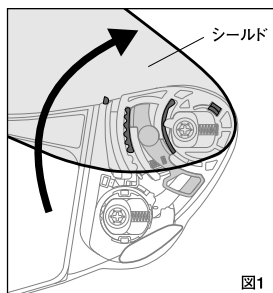
CW-1シールド CWF-1シールド



シールドの取りはずし取り付け方

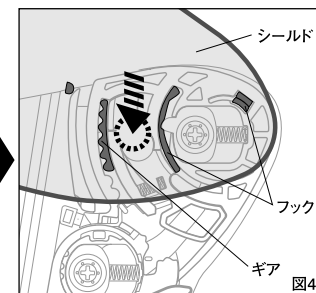
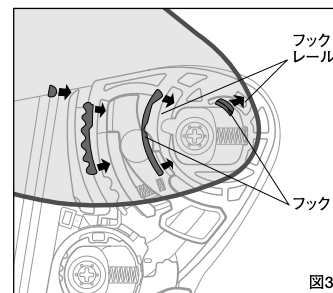
〈シールドの取りはずし方〉

- ①シールドを全開の状態(図1)にしてください。
- ②トリガーを下に引きロックを解除し、フックをフックレールから矢印方向(図2)にはずして取りずします。取りはずしは反対側も同じ要領でおこなってください。



〈シールドの取り付け方〉

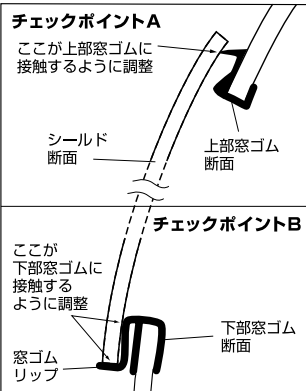
- ③シールドを全開位置状態に合わせて、フックをフックレールに差し込みます(図3)。
- ④シールドの矢印付近(図4)を上からカチッとロックされるまで押しはめ込んでください。反対側も同じ要領でおこなってください。フックやギアが確実にロックされていない状態での使用は、シールドがはずれる場合がありますのでよく確認してください。



シールドの調整方法

対象品: CW-1
CWF-1

シールドまたはシールドベースを交換した際、シールドが窓ゴムに接触していない、または、閉まらない場合には、以下の方法でシールドベースを調整してください。



チェックポイントA

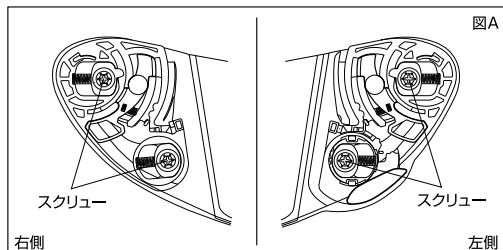
シールド上側の内側が窓ゴムと接していること。

チェックポイントB

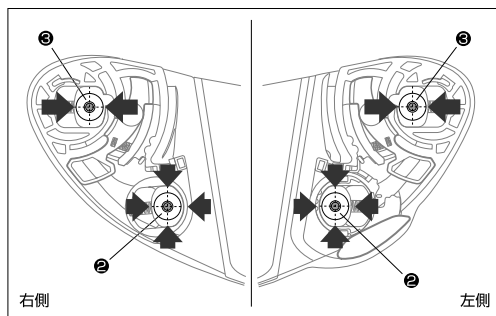
シールド下側のフチ部が窓ゴムリップと接していること。

■シールド下部にスキ間がある場合

- ①シールドをはずし、左右2カ所ずつ(計4カ所)のスクリーをとりはずします。

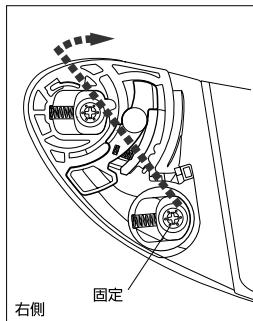


- ②シールドベースの下部の孔を、スクリー孔の上下左右の中心に合わせスクリーを締め付けます。
- ③次にシールドベースの上部の孔を、スクリー孔の左右の中心に合わせスクリーを締め付けます。
- ④反対側のシールドベースも同じように締め付けます。
- ⑤シールドを取り付けます。



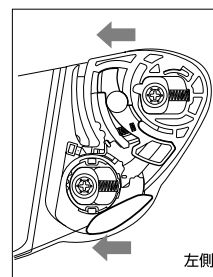
シールドを取りつけて、まだ下部にスキ間がある場合

- ⑥ヘルメット右側の下部のスクリーは固定させたまま、上部のスクリーをゆるめます。次に、下部スクリーを中心に、ほんの少し上部を前方に回転させスクリーを締め付けます。そして、再度シールドを取り付け、スキ間を確認します。
- ⑦スキ間が無くならない場合、“⑥”をもう一度行ってください。



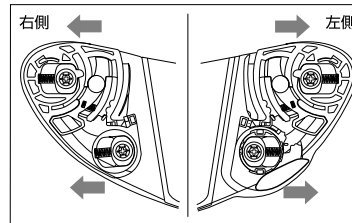
- ⑧“⑦”でまだスキ間がある場合、ヘルメット右側の上下スクリーを元の中心位置に戻し締め付けます。左側の上下スクリーをゆるめ、シールドベースを前方に平行にほんの少しずらしたのち、上下スクリーを締めます。そして、右側を“⑥”から繰り返します。

※左側のシールドベースの調整は平行方向のみで行ってください。

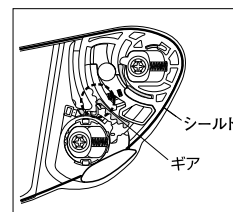


■シールド上下部にスキ間がある場合

- ⑨シールドをはずし、左右2カ所ずつ(計4カ所)のスクリーをゆるめます。(図A)
- ⑩左右のシールドベースを平行に、後方にほんの少し動かします。シールドを装着し、上下のスキ間を確認します。下部にスキ間がある場合⑥から⑧を繰り返して調整してください。



- ⑪最後にシールドとシールドベースのギアが正しくかみ合っているか確認してください。



シールドおよびシールドベースの取り扱い上の注意

1. クリアーおよびソフトスモークシールド以外のカラーでの夜間走行はしないでください。
2. シールドの汚れは、うすめた中性洗剤で洗い、水でよくすすいでから柔らかい布で拭いてください。ベンジン、シンナー、ガソリン、ガラスクリーナー等で拭くことは、絶対にしないでください。
3. キズがついたり、汚れが落ちないシールドは視界を妨げます。新しいものに交換してください。
4. ミラーコートは、ご購入後の発色から色が変化する場合があります。
5. シールドベースをクリーニングしたり、あるいは新規にシールドベースを交換した場合、シールドを閉めシールドと窓ゴムとの密着を確認してください。すき間がある場合、風の巻きこみや風切り音の原因となるため、シールドを窓ゴムに密着するように調整してください。
6. スクリューの締め付けなどを行う際は、ビットサイズ(No.2)のプラスドライバーを垂直に当てて、丁寧に回してください。サイズの合わないドライバーや電動ドライバーを使用したり、スクリーをななめに締め付けたりすると、ネジ頭を破損する場合がありますので十分注意して回してください。スクリーを交換する場合は必ず純正部品(アルミニウム製)をご使用ください。スクリーを強く締めすぎるとスクリーが破損する場合がありますのでご注意ください。(推奨締め付けトルク: 80cN・m/約8kgf・cm)
7. Pinlock® fog-free sheet及びティアオフフィルム(CWF-1対応)をご使用の場合は、必ず純正品をご使用ください。Pinlock® fog-free sheetならびにティアオフフィルムの取り付け方法につきましては、それぞれに同梱されております取扱説明書をご覧ください。

ご使用前のチェック

1. 使用する前には必ず、左右のシールドベース取り付けスクリーが締まっていることを確認し、ゆるんでいたら必ず締め付けてください。
 2. 使用する前に、シールド左右のギアとフックがロックされていることをかならず確認してください。
- ※ シールド及びシールドベースの取り付けが不十分な場合、走行中突然シールドがはずれたり開いてしまう可能性があります。ご注意ください。